

2025年2月度炭焼き部会

炭焼きボランティア
体験プログラムレポート

< 2月／炭焼部会の活動概要 >

■ 炭焼き活動

今月から、5月末実施予定のたたら製鉄の燃料用として木炭を焼いています。今回使用した炭材(間伐木)に水分が多く含まれていたせいか、火入れから窯締めまでの時間が10時間半と長くなりました。収量は最近の竹炭焼きと同等で、炭化温度も精錬中850℃を超え、現在の窯での最高温度を記録、ブルーフレームも長時間観察されました。ただ、竹炭と比べてかなりタール分が多いのが特徴のようです。

■ 新規ボランティア会員の獲得に向けて(継続)

今月の応募者は3名。炭焼き(木炭)のほか、炭材作り(丸竹の採寸、竹割り、束ね)や薪割り、堆肥処理など、多種の作業を体験していただきました。そのうちのお二人はすぐに会員に...

< 2月／炭焼きボランティア体験活動の概要 >

【第1週】

- 2月7日（土）9：00～12：00
 - 窯詰め（MK-1使用、木炭）
 - 米ぬか播き（B3地区）

【第2週】

- 2月14日（土）9：00～20：30
 - 火入れ（MK-1、木炭）
 - 軟炭焼き（無煙炭化器使用）
 - 薪割り
 - 腐葉土（落ち葉溜め）の搬出

【第3週】

- 2月21日（土）9：00～12：00
 - 窯出し（MK-1、木炭）
 - 次年度用竹炭焼用炭材作り
 - 採寸、竹割、束ね、計量約 150 kg
 - ばじょうじの廃窯に伴うコンクリート片の移動
 - 次月（3月）の予定表配布・説明

< 親子炭焼き体験 >（親子自然体験部会）

- 10：00～15：00 於 宮谷戸窯
 - 火起こし体験、華炭作り、炭焼の作業お手伝い

< ドラム缶窯 MK-1による炭焼き >

- 炭材：公園内の間伐けやき材（横浜市公園事務所より提供）
- 乾燥日数 & 乾燥減量：不明
- 入木材量：75.10 kg
- 出炭量：15.94 kg (21.2%)
- 採取木酢液：12.0 L



(比較／対前年4月度の木炭焼き)

炭材：こなら木片 色々 入木材量：68.14 Kg
出炭量：15.31 Kg (22.5%) 採取木酢液：10.3 L

- ※ 使用したけやき材は伐採から炭焼きまで比較的短期間だったために水分が多く、そのせいか木酢液などの抽出液量が非常に多かった。また、大量のタールが煙突内に残留しており、取外し後の清掃に苦勞した。



今回

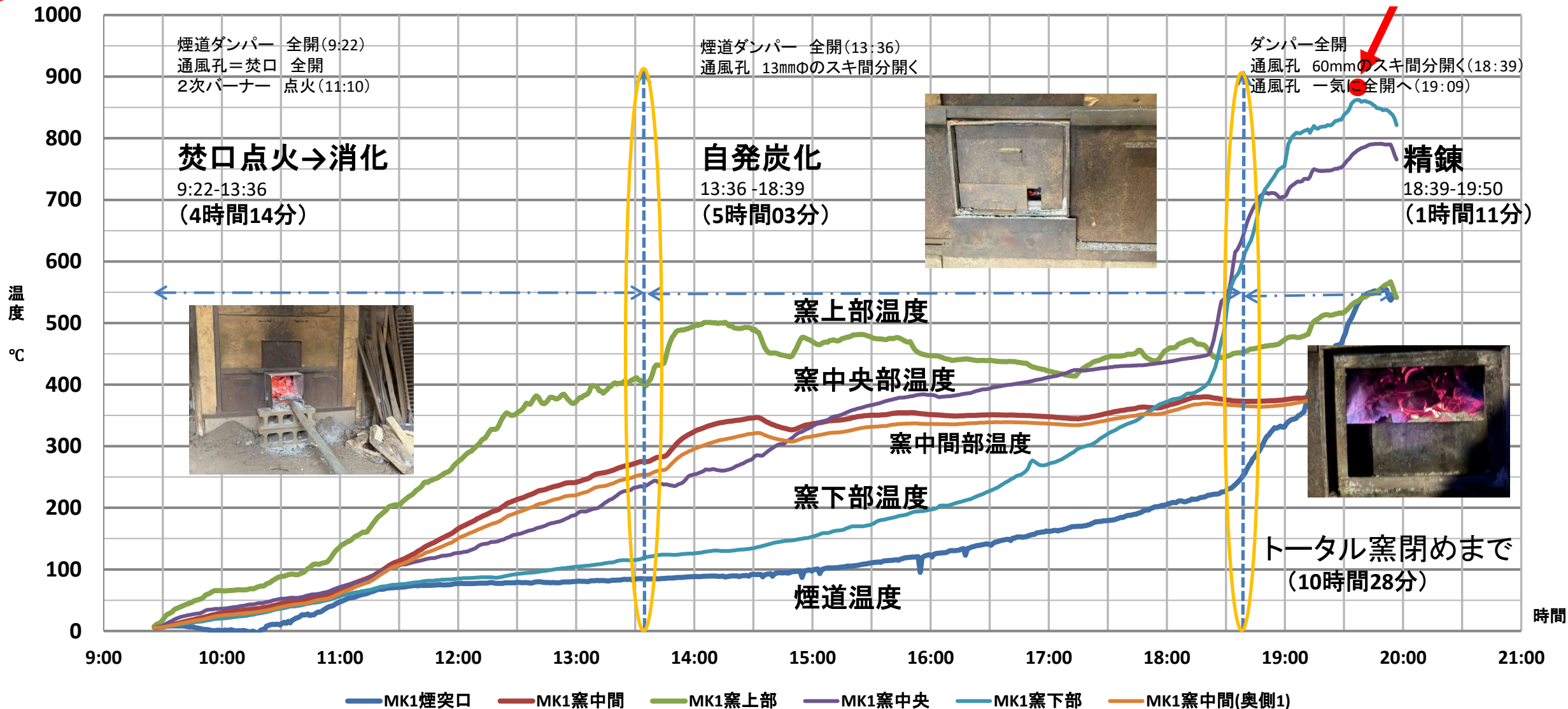
2026年2月14日(土) 宮谷戸 MK-1改修窯 木炭焼き結果

第263回(窯改修後21回目) 炭焼き、気温 6.2°C、天気 晴れ

炭材:間伐ケヤキ (伐採年 2026年月日、乾燥日数、乾燥重量減は不明)

入木材量: 75.10 Kg 採取木酢液: 12.0 L 出炭量: 15.94 Kg (21.23%)

MK-1 窯下部
最高温度862°C

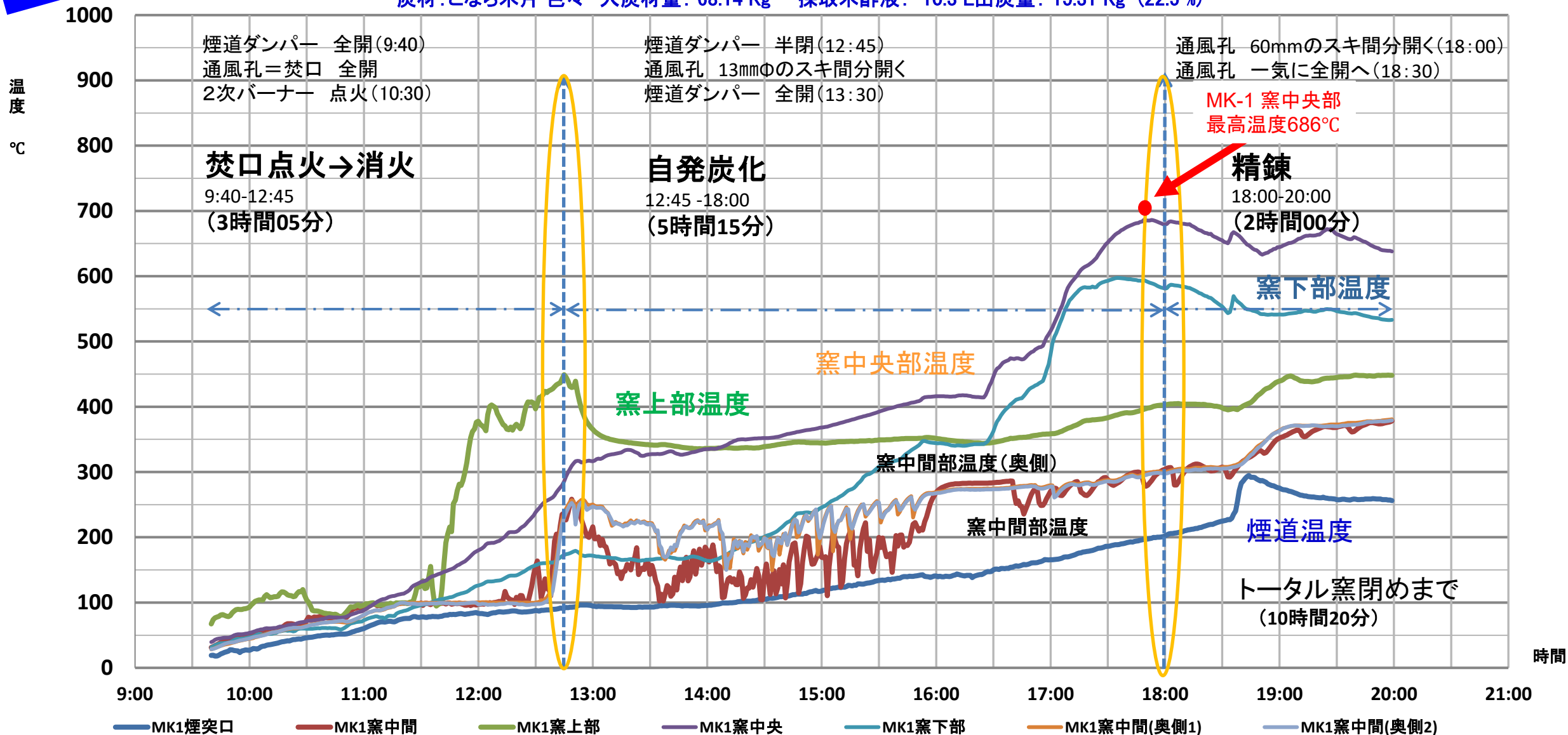


昨年

2024年4月13日(土) 宮谷戸 MK-1改修窯 木炭焼き結果

第247回(窯改修後5回目) 炭焼き、気温 20°C、天気 晴れ

炭材:こなら木片 色々 入炭材量: 68.14 Kg 採取木酢液: 10.3 L出炭量: 15.31 Kg (22.5%)



<炭焼きボランティア体験 その1>



炭材（木）を詰める



火入れ



窯開け直後



窯から木炭を出す



蓋閉め後の土留め



火入れ日の昼食作り



出来上がり木炭

第1週

第2週

第3週

<炭焼きボランティア体験 その2>



腐葉土の上に積もった
枯葉を取り除く

落ち葉溜めに枯葉を
放置して3年、立派な
腐葉土が出来上がり



腐葉土中には
カブトムシの
幼虫がたくさん



腐葉土を運搬車に積み
軽トラで畑まで運ぶ



火起こし器の補修

良い筍がたくさん
生えますように



米糠播き